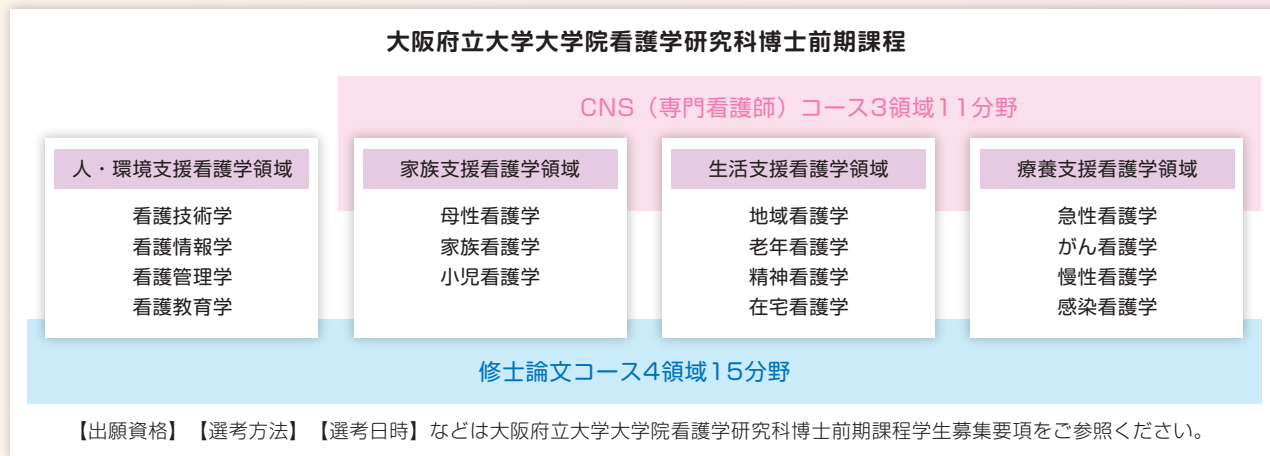


大阪府立大学は、日本看護系大学協議会より、**高度実践看護師教育課程**※の認定を受けています。

※高度実践看護師教育課程認定とは

高度実践看護師には専門看護師およびナースプラクティショナーが含まれ、日本看護系大学協議会が、高度な専門知識と技術を持ったがん看護専門看護師の質の維持と向上を目指して定めた基準をもとに行う認定です。



問い合わせ

入試関係

大阪府立大学 羽曳野キャンパス事務所 学生グループ
☎ 072-950-2117

がん看護専門看護師
コース関係

看護学研究科 教授 田中京子
☎ 072-950-2111 (内線 2033)

<がん看護専門看護師の情報>

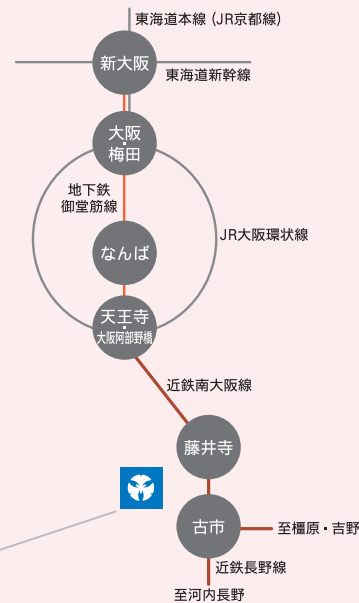
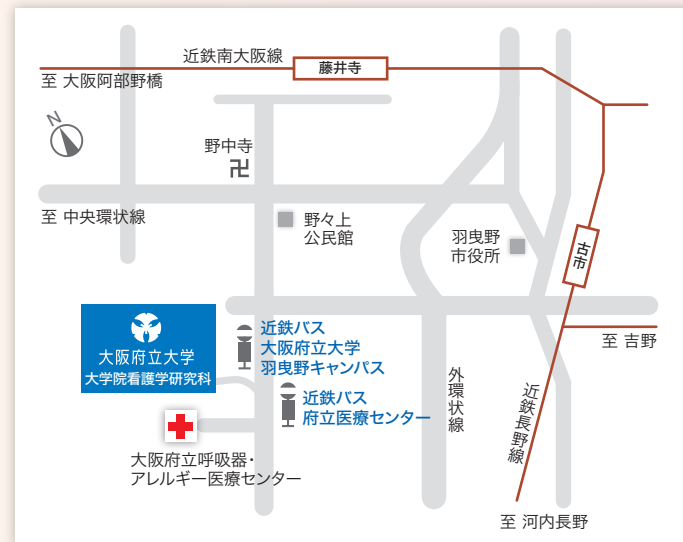
日本看護協会 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns>

<最新の入試情報>

大阪府立大学 <http://www.osakafu-u.ac.jp>

看護学研究科 <http://www.nursing.osakafu-u.ac.jp/>

アクセス



がん看護学分野の教育内容の特色

がん看護実践で経験する多様な病態、状況に対応できる能力の育成を目指し38単位教育課程を導入し、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、病態生理学の科目を設けています。

薬物療法看護と緩和ケアを中心に、がんやがん治療に伴う症状などをアセスメントする能力や患者のセルフケア能力の向上のための方略について教育を強化し、エビデンスに基づいてケアを発展させる能力を育成します。

がん緩和ケア論

がん看護学に用いられる理論・概念を基盤として、診断期から終末期におけるがん患者が抱える様々な症状、苦痛・苦悩をトータルペインの観点から理解し、それらを緩和する方法について検討します。

がん看護学演習ⅡB

がん薬物療法を受ける患者に生じる苦痛を伴う症状や副作用の予防・早期発見・早期対処、ならびにがん治療に伴う患者・家族の苦悩を緩和する方法を検討し、患者・家族が質の高い療養生活を送ることができるようなケアを探求します。

フィジカルアセスメントI

CNSとして複雑な健康問題を有する事例に対応する能力を高めるために、体系的な診察技法を身につけるとともに、生活背景から病態の把握をする視点についても考察しながら講義や演習を進めます。(がん看護学分野以外の他分野の大学院生と触れ合う機会ともなり、相互刺激による相乗効果が期待されています。)

共通特論Ⅰ：臨床腫瘍学総論

がん細胞の特徴に始まり、がんの疫学や治療法と病態の関係などの講義を、他大学から参加している医師や薬剤師達と一緒に受けます。最新のがん治療に関する医学的知識のみならず各大学からの講師陣による特色ある講義が定評です。



がん看護 専門看護師を めざす

専門看護師 は、対象のクオリティ・オブ・ライフの向上を目的として、個人、家族および集団に対して、ケアとキュアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、対象の治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供する看護職者です。



がん看護専門看護師になるために

看護師免許を有していること

大学院博士前期課程への入学資格があること
(入学資格については学生募集要項をご参照ください)

がん看護専門看護師コースを履修可能な程度のがん看護臨床実務能力があること
(看護師などの免許取得後、通算5年以上の実務研修をしており、そのうち通算3年以上はがん看護分野であること)



大学院在学中に行うこと

- 高度実践看護師教育課程(がん看護学)の基準の単位を履修すること
- がん看護学分野の中で専門性を深めるために、日本がん看護学会や日本看護科学学会、日本緩和医療学会などに参加すること

大学院修了後に行うこと

- がん看護専門看護師としての実践能力の向上を図るために、大阪府立大学大学院看護学研究科がん看護学分野が主催する事例検討会に参加すること
- がん看護専門看護師の役割を遂行し、高度な看護実践事例、コンサルテーション事例、コーディネーション事例、倫理調整事例などを看護実績報告書としてまとめる
- がん看護専門看護師認定審査に合格すること
- 学会発表および学会誌などへの論文投稿
- 院内／院外での教育の企画・運営・教育活動

在学中から修了後まで継続的にサポートします



事例検討会

事例検討会は、がん看護専門看護師のキャリア向上のための勉強会です。本大学院の在校生および修了生が集まり実践事例を検討するもので、困難な事例や活動の進め方について、主体的に意見交換し、がん看護専門看護師として役割を遂行するための能力の発展を目指します。また、専門看護師を講師に迎えた勉強会も行っています。



研究抄読会

高度な実践の基盤となる研究論文のクリティークやエビデンスの活用、研究計画書作成を行い、研究遂行能力の向上と看護実践の基盤の強化を図ります。